

## 2 - 3 東北大学における地殻変動連続観測 (体積ひずみ、1984年7月まで)

Continuous Observation of Crustal Movement

(Sacks-Evertson Strainmeter Record until July, 1984)

東北大学 理学部  
カーネギー研究所 (米, ワシントン DC)  
Faculty of Science, Tohoku University  
Carnegie Institution (Washington D.C.)

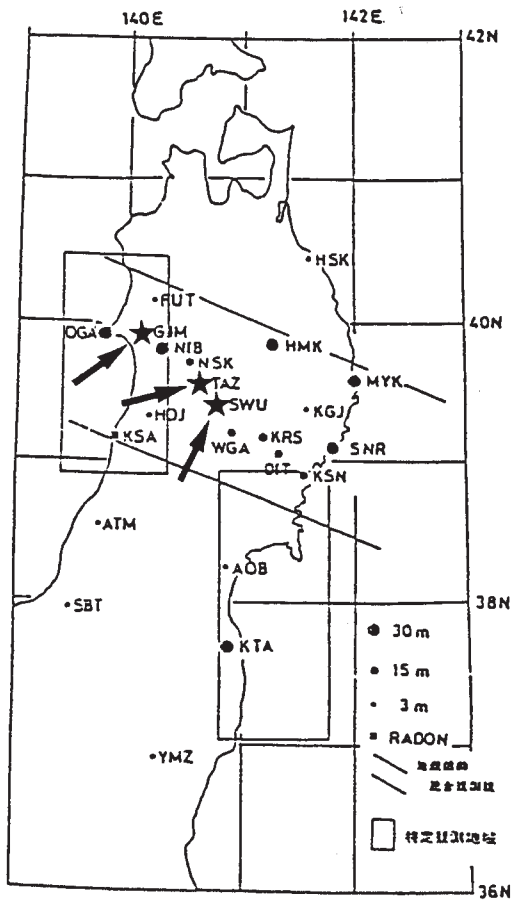
東北大学理学部は米国カーネギー研究所と共同して1982年10月末に地殻活動総合観測線上の観測点である、五城目 (GJM), 田沢湖 (TAZ) と沢内 (SWU) の三点 (第1図) にサックス・エバートソン型体積ひずみ計を設置して観測を続けている。

田沢湖と沢内は1896年の陸羽地震により出来た千屋断層と川舟断層のところに設置してある。体積ひずみ計は100mのボーリング坑で観測している。比較のために横抗内の伸縮計により観測された面積ひずみを合わせて示してある (第2図)。体積ひずみ計に関しては、直線的变化分をとり除いた変化も示した。日本海中部地震により生じたステップはとり除いてある。

### 参 考 文 献

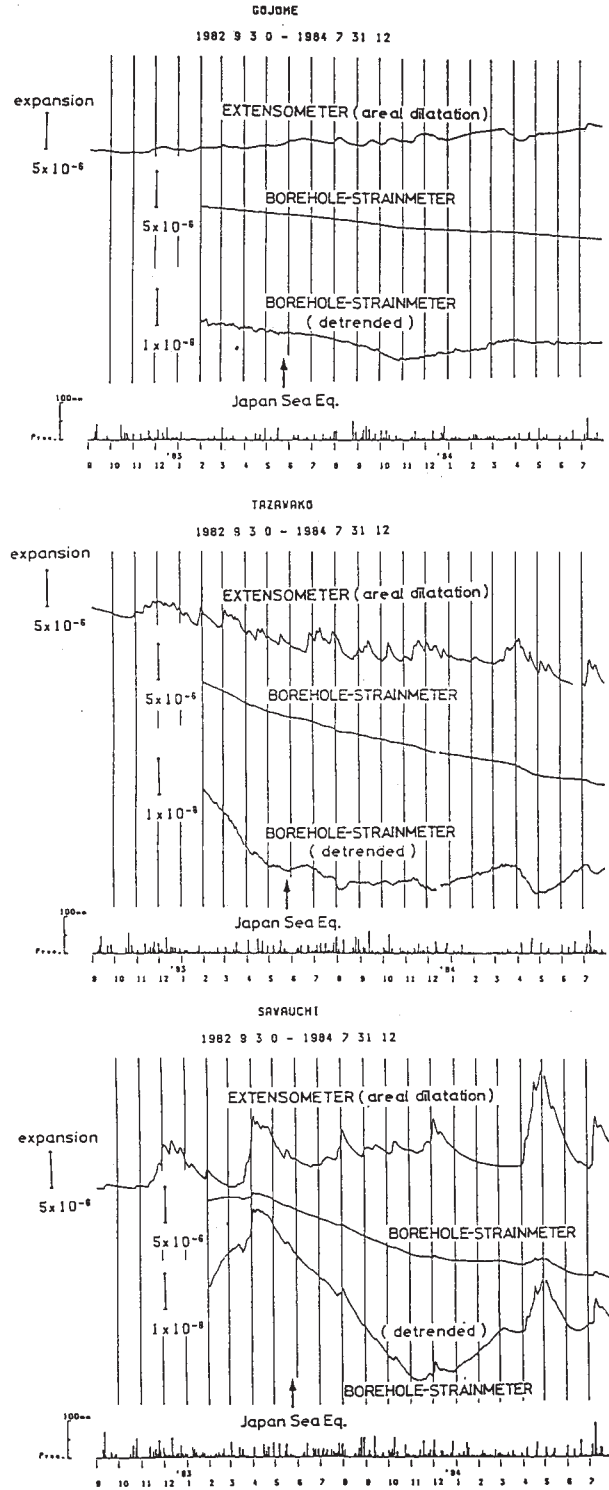
- 1) 東北大学理学部: 日本海中部地震前後の体積ひずみ計の記録, 連絡会報, **31** (1984), 84 - 85.

Crustal Movement Observatory



第1図. 観測点配置

Fig. 1 Location of observation stations.



第2図 五城目 (GJM), 田沢湖 (TAZ), 沢内 (SWU) における 1984 年 7 月までの体積ひずみ計記録, 伸縮計による面積ひずみ及び雨量

Fig. 2 Strain observed by Sacks-Evertson strainmeter, areal dilatation by extensometers and precipitation at Gojonome (GJM), Tazawako (TAZ) and Sawauchi (SWU).